

科目名	公務員職種研究Ⅰ		単位数	1	科目コード	G0		
授業形態	講義 学外実習		対象学生	1	開設期	1年生前期		
受講条件	Y I C公務員専門学校の入学者であり、公務員受験に必要な資格要件を所有する者		開設時期	4～9月	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	講義を通じて公務員の職種を理解し、官公庁などの見学を通じて自分自身が目指す公務員試験についての理解を深めていく。特に自分になりたい職業についての理解を深めることは、学習についてのモチベーションアップに繋がると共に間違いのない職業選択においては必須の事項である。また、年度によって各官公庁の施設見学など変更になる可能性があるため、計画としては前年度のものを掲載している。							
授業の一般目標	公務員の職種について毎回違う職種についての理解を行い、就職決定に向け多くの選択肢を得る。							
受講条件	Y I C公務員専門学校の入学者であり、公務員受験に必要な資格要件を所有する者							
事前学習について (テキスト・参考書等)	事前学習の必要は無し。テキストとしては初級公務員試験最新データブックを使用。							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 1. 公務員の職種について他者へ説明できる。								
☐ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点 1. 官公庁の見学で得たことを文章化できる。								
☒ 態度の観点 1. 職種についての理解をする上で分からないことがあれば自主的に質問できる。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
志望する職種が明確であっても、他の職種の理解をすることで多くの可能性が広がる。国家公務員や都道府県職員、市町村職員など各職種について採用区分や受験資格、試験のスケジュールや採用後の仕事などを理解すると共に実際の職場見学を通じてやりがいや働く上で必要な資質などを理解する。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1	オリエンテーション①【施設見学をする意義について】							
2	オリエンテーション②【事前準備の手法について】							
3	国家公務員施設見学①							
4								
5								
6				終了後のレポート作成				
7	国家公務員施設見学②							
8								
9				終了後のレポート作成				
10	地方公務員施設見学①							
11				終了後のレポート作成				
12	地方公務員施設見学②							
13				終了後のレポート作成				
14	地方公務員施設見学③							
15				終了後のレポート作成				
成績評価方法								
1 宿題授業外レポート：官公庁の見学や官公庁の方の講話を終えた後、レポートを提出。								
2 授業態度：期限内の提出物の提出。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	S(4)：90点以上
小テスト							評価なし	A(3)：80点以上
宿題授業外レポート	○		○				50	B(2)：70点以上
授業態度	○		○	○			50	C(1)：60点以上
発表・作品							評価なし	D(0)：59点未満
演習							評価なし	未修得
出席				○			欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	各官公庁の職員			実務経験紹介				

科目名	公務員職種研究Ⅱ	単位数	1	科目コード	G0			
授業形態	講義 学外実習	対象学生	1	開設期	1年生後期			
受講条件	Y I C公務員専門学校の入学者であり、公務員受験に必要な資格要件を所有する者	開設時期	10～3月	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	講義を通じて公務員の職種を理解し、官公庁などの見学を通じて自分自身が目指す公務員試験についての理解を深めていく。特に自分になりたい職業についての理解を深めることは、学習についてのモチベーションアップに繋がると共に間違いのない職業選択においては必須の事項である。また、年度によって各官公庁の施設見学など変更になる可能性があるため、計画としては前年度のものを掲載している。							
授業の一般目標	公務員の職種について毎回違う職種についての理解を行い、就職決定に向け多くの選択肢を得る。							
受講条件	Y I C公務員専門学校の入学者であり、公務員受験に必要な資格要件を所有する者							
事前学習について (テキスト・参考書等)	事前学習の必要は無し。テキストとしては初級公務員試験最新データブックを使用。							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 1. 公務員の職種について他者へ説明できる。								
☐ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点 1. 官公庁の見学で得たことを文章化できる。								
☒ 態度の観点 1. 職種についての理解をする上で分からないことがあれば自主的に質問できる。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
志望する職種が明確であっても、他の職種の理解をすることで多くの可能性が広がる。国家公務員や都道府県職員、市町村職員など各職種について採用区分や受験資格、試験のスケジュールや採用後の仕事などを理解すると共に実際の職場見学を通じてやりがいや働く上で必要な資質などを理解する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等	授業の記録			
1	オリエンテーション							
2	地方公務員施設見学①							
3								
4				終了後のレポート作成				
5								
6	国家公務員施設見学①			終了後のレポート作成				
7	地方公務員施設見学②							
8								
9				終了後のレポート作成				
10								
11	国家公務員施設見学②							
12				終了後のレポート作成				
13	地方公務員施設見学③							
14								
15								
				終了後のレポート作成				
成績評価方法								
1 宿題授業外レポート：官公庁の見学や官公庁の方の講話を終えた後、レポートを提出。								
2 授業態度：期限内の提出物の提出。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○		○				50	B（2）：70点以上
授業態度	○		○	○			50	C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	D（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得 ()内はGPA点数
出席				○			欠格条件	
担当教員	各官公庁の職員			実務経験紹介				

科目名	公務員職種研究Ⅲ		単位数	1	科目コード	G0		
授業形態	講義 学外実習		対象学生	2	開設期	2年生前期		
受講条件	Y I C 公務員専門学校の入学者であり、公務員受験に必要な資格要件を所有する者		開設時期	4～9月	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	講義を通じて公務員の職種を理解し、官公庁などの見学を通じて自分自身が目指す公務員試験についての理解を深めていく。特に自分になりたい職業についての理解を深めることは、学習についてのモチベーションアップに繋がると共に間違いのない職業選択においては必須の事項である。また、年度によって各官公庁の施設見学など変更になる可能性があるため、計画としては前年度のものを掲載している。							
授業の一般目標	公務員の職種について毎回違う職種についての理解を行い、就職決定に向け多くの選択肢を得る。							
受講条件	Y I C 公務員専門学校の入学者であり、公務員受験に必要な資格要件を所有する者							
事前学習について (テキスト・参考書等)	事前学習の必要は無し。テキストとしては初級公務員試験最新データブックを使用。							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 1. 公務員の職種について他者へ説明できる。								
☐ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点 1. 官公庁の見学で得たことを文章化できる。								
☒ 態度の観点 1. 職種についての理解をする上で分からないことがあれば自主的に質問できる。								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
志望する職種が明確であっても、他の職種の理解をすることで多くの可能性が広がる。国家公務員や都道府県職員、市町村職員など各職種について採用区分や受験資格、試験のスケジュールや採用後の仕事などを理解すると共に実際の職場見学を通じてやりがいや働く上で必要な資質などを理解する。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1	オリエンテーション							
2	地方公務員施設見学①							
3								
4				終了後のレポート作成				
5	国家公務員施設見学①							
6				終了後のレポート作成				
7	地方公務員施設見学②							
8								
9				終了後のレポート作成				
10	国家公務員施設見学②							
11								
12				終了後のレポート作成				
13	地方公務員施設見学③							
14								
15				終了後のレポート作成				
成績評価方法								
1 宿題授業外レポート：官公庁の見学や官公庁の方の講話を終えた後、レポートを提出。								
2 授業態度：期限内の提出物の提出。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○		○				50	B（2）：70点以上
授業態度	○		○	○			50	C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	D（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	各官公庁の職員			実務経験紹介				

科目名	就職実務演習Ⅰ	単位数	1	科目コード	G0			
授業形態	講義 演習	対象学生	1	開設期	1 年生前期			
受講条件	YIC公務員専門学校の入学者	開設時期	4～9月	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	昨今公務員に限らず就職活動において、楽観的に職業を選択をし退職する学生が増えている。そのようなことが無いように、志望する公務員の職種について、実際に各官公庁の方を招き職業理解のためのガイダンスを行ってもらい、間違いが無い職業選択をすることを目的とする。							
授業の一般目標	各官公庁の職員の方々から話を聞き、多くの職業について理解する。							
受講条件	YIC公務員専門学校の入学者							
事前学習について (テキスト・参考書等)	事前に各官公庁の方でどのような職業の方をお招きするかを伝えるため、自身でもその自治体や職業についての調べ学習をすることで、当日のガイダンスを聞いた後で疑問点があれば質問という形で投げ掛けることで、より一層職業理解ができるようになる。							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	1. 各職種でのやりがいや働く上で必要な資質など社会に出て必要な知識を身に付ける。							
□ 思考・判断の観点								
☑ 関心・意欲の観点	1. 社会に出る上での必要な資質を身に付けるように、ボランティア活動などに積極的に参加できるようになる。							
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点								
授業計画 (全体)								
各官公庁の方々をお招きしての公務員採用ガイダンスや各自治体での取り組みなどを講話して頂き、公務員になる上での必要な情報を収集する。また、官公庁の方のガイダンスについては、国家公務員一般職(各省庁)、国家公務員一般職(裁判所一般職)、国家公務員専門職(税務職員)、国家公務員専門職(刑務官)、国家公務員専門職(入国警備官)、国家公務員専門職(海上保安学校)、国家公務員特別職(陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊)、地方公務員行政職(都道府県職員、市町村職員)、地方公務員公安職(警察、消防)など1つの職種に限らず、多くの職業ガイダンスに触れることで職業の選択肢を増やす。								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	ガイダンス							
2	国家公務員専門職ガイダンス							
3								
4			レポート作成					
5	国家公務員一般職ガイダンス							
6								
7			レポート作成					
8	地方公務員ガイダンス①							
9			レポート作成					
10	地方公務員ガイダンス②							
11			レポート作成					
12	地方公務員ガイダンス③							
13			レポート作成					
14	地方公務員ガイダンス④							
15			レポート作成					
成績評価方法								
1 宿題授業外レポート：毎回のガイダンス終了後に振り返りのレポートを書いてもらいます。								
2 授業態度：ガイダンス中の聞く姿勢(メモを取ったり、傾聴をすることなど)。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	S(4)：90点以上
小テスト							評価なし	A(3)：80点以上
宿題授業外レポート	◎		○				80	B(2)：70点以上
授業態度			◎				20	C(1)：60点以上
発表・作品							評価なし	D(0)：59点未満
演習							評価なし	
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	各官公庁の職員		実務経験紹介					

科目名	就職実務演習Ⅱ	単位数	1	科目コード	G0			
授業形態	講義 演習	対象学生	1	開設期	1 年生後期			
受講条件	YIC公務員専門学校の入学者	開設時期	10～3月	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	昨今公務員に限らず就職活動において、楽観的に職業を選択をし退職する学生が増えている。そのようなことが無いように、志望する公務員の職種について、実際に各官公庁の方を招き職業理解のためのガイダンスを行ってもらい、間違いが無い職業選択をすることを目的とする。							
授業の一般目標	各官公庁の職員の方々から話を聞き、多くの職業について理解する。							
受講条件	YIC公務員専門学校の入学者							
事前学習について (テキスト・参考書等)	事前に各官公庁の方でどのような職業の方をお招きするかを伝えるため、自身でもその自治体や職業についての調べ学習をすることで、当日のガイダンスを聞いた後で疑問点があれば質問という形で投げ掛けることで、より一層職業理解ができるようになる。							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 1. 各職種でのやりがいや働く上で必要な資質など社会に出て必要な知識を身に付ける。								
☐ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点 1. 社会に出る上での必要な資質を身に付けるように、ボランティア活動などに積極的に参加できるようになる。								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
各官公庁の方々をお招きしての公務員採用ガイダンスや各自治体での取り組みなどを講話して頂き、公務員になる上での必要な情報を収集する。また、官公庁の方のガイダンスについては、国家公務員一般職（各省庁）、国家公務員一般職（裁判所一般職）、国家公務員専門職（税務職員）、国家公務員専門職（刑務官）、国家公務員専門職（入国警備官）、国家公務員専門職（海上保安学校）、国家公務員特別職（陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊）、地方公務員行政職（都道府県職員、市町村職員）、地方公務員公安職（警察、消防）など1つの職種に限らず、多くの職業ガイダンスに触れることで職業の選択肢を増やす。								
授業計画（授業単位）								
回数日付			授業外学習の指示等		授業の記録			
1	ガイダンス							
2	国家公務員専門職ガイダンス							
3								
4			レポート作成					
5	国家公務員一般職ガイダンス							
6								
7			レポート作成					
8	地方公務員ガイダンス①							
9			レポート作成					
10	地方公務員ガイダンス②							
11			レポート作成					
12	地方公務員ガイダンス③							
13			レポート作成					
14	地方公務員ガイダンス④							
15			レポート作成					
成績評価方法								
1 宿題授業外レポート：毎回のガイダンス終了後に振り返りのレポートを書いてもらいます。								
2 授業態度：ガイダンス中の聞く姿勢（メモを取ったり、傾聴をすることなど）。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	◎		○				80	B（2）：70点以上
授業態度			◎				20	C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	D（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得
出席							欠格条件	
担当教員	各官公庁の職員		実務経験紹介		() 内はGPA点数			

科目名	就職実務演習Ⅲ		単位数	1	科目コード	G0		
授業形態	講義 演習		対象学生	1	開設期	2年生前期		
受講条件	YIC公務員専門学校の入学者		開設時期	4～9月	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	昨今公務員に限らず就職活動において、楽観的に職業を選択をし退職する学生が増えている。そのようなことが無いように、志望する公務員の職種について、実際に各官公庁の方を招き職業理解のためのガイダンスを行ってもらい、間違いが無い職業選択をすることを目的とする。							
授業の一般目標	各官公庁の職員の方々から話を聞き、多くの職業について理解する。							
受講条件	YIC公務員専門学校の入学者							
事前学習について (テキスト・参考書等)	事前に各官公庁の方でどのような職業の方をお招きするかを伝えるため、自身でもその自治体や職業についての調べ学習をすることで、当日のガイダンスを聞いた後で疑問点があれば質問という形で投げ掛けることで、より一層職業理解ができるようになる。							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 1. 各職種でのやりがいや働く上で必要な資質など社会に出て必要な知識を身に付ける。								
☐ 思考・判断の観点								
☒ 関心・意欲の観点 1. 社会に出る上で必要な資質を身に付けるように、ボランティア活動などに積極的に参加できるようになる。								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画 (全体)								
各官公庁の方々をお招きしての公務員採用ガイダンスや各自治体での取り組みなどを講話して頂き、公務員になる上で必要な情報を収集する。また、官公庁の方のガイダンスについては、国家公務員一般職(各省庁)、国家公務員一般職(裁判所一般職)、国家公務員専門職(税務職員)、国家公務員専門職(刑務官)、国家公務員専門職(入国警備官)、国家公務員専門職(海上保安学校)、国家公務員特別職(陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊)、地方公務員行政職(都道府県職員、市町村職員)、地方公務員公安職(警察、消防)など1つの職種に限らず、多くの職業ガイダンスに触れることで職業の選択肢を増やす。								
授業計画 (授業単位)								
回数日付			授業外学習の指示等		授業の記録			
1	ガイダンス							
2								
3	国家公務員専門職ガイダンス							
4			レポート作成					
5								
6	国家公務員一般職ガイダンス							
7			レポート作成					
8	地方公務員ガイダンス①							
9			レポート作成					
10	地方公務員ガイダンス②							
11			レポート作成					
12	地方公務員ガイダンス③							
13			レポート作成					
14	地方公務員ガイダンス④							
15			レポート作成					
成績評価方法								
1 宿題授業外レポート：毎回のガイダンス終了後に振り返りのレポートを書いてもらいます。								
2 授業態度：ガイダンス中の聞く姿勢(メモを取ったり、傾聴をすることなど)。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	S(4)：90点以上
小テスト							評価なし	A(3)：80点以上
宿題授業外レポート	◎		○				80	B(2)：70点以上
授業態度			◎				20	C(1)：60点以上
発表・作品							評価なし	D(0)：59点未満
演習							評価なし	未修得
出席							欠格条件	
担当教員	各官公庁の職員		実務経験紹介		()内はGPA点数			